

2018年4月吉日

## 就任のご挨拶

国際津波防災学会代表 山中燐子



春たけなわの過ごしやすい季節となりましたが、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、私、このたび初代代表のロバートゲラー先生の辞任に伴い、会員の皆様のご推挙により、代表を務めることになりました。この発足間もない学会の運営は、誠に重責であります。会員や役員、ご関係の皆様のご指導・ご協力を得てこの任を果たして参りたいと思いますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

この機会に、学会の沿革、そして、現在役員会で検討している活動について、ご報告方々お願いを申し上げます。

本学会は、公益財団法人国際科学振興財団を母体として、津波研究、津波防災研究及びこれらに係る学際的、国際的研究の発展を図り、もって津波から人々の生命と財産を守る防災・減災に貢献することを目的として2017年11月11日に設立されました。

現在では、日本語の「津波」に起源する“tsunami”が世界中で学術用語として定着しておりますが、日本においてはそれまで津波を専門に議論する学会は存在しませんでした。最近の研究により、津波は地震の単なる付随現象ではないこと、海底地すべりとの関係があること等が指摘されています。また、東日本大震災の痛ましい被害により、土木工事のみで津波防災を語るができないという認識が拡がりました。

そこで、本学会は、津波の原因究明は元より、行政や立法府、そしてマスコミや産業界と連携して、総合的な津波防災対策を議論する開かれた学会を目指しております。

本学会は、国際的なネットワークの構築をめざします。津波防災は国際的なネットワークの中でこそ実現できると私たちは考えており、本学会の名称に「国際」という言葉があるのもそれを強く意識したからに他なりません。私も海外研究教育機関との縁もありますが、会員各位のネットワークを生かして、研究・活動を続けていきますので、ぜひ温かいご支援をいただきたいと思っております。

また、本学会は、オンラインジャーナルの創刊の準備を進めています。津波防災は、津波の発生原因の究明や、施設及びインフラの整備といった理学・工学的な視点だけでなく、その地球史的及び文明的な観点、さらには防災対策の法律による支援などの人文・社会的な側面

などからの議論が必要なことは言うまでもありません。そこで、総合的に議論し出版するオンラインジャーナルを当面年二回発行します。創刊号はこの夏に発行の予定です。

このような幅広い活動を進めて行くためにも、会員数の増強が必要不可欠です。発足間もない本学会の会員数はまだそう多くはありません。幸い、津波シミュレーション、都市共生防災、断層・地質の3つの分科会がすでに設立され、活発な活動を開始していますが、本学会の趣旨を広く理解していただき、学者だけでなく、行政担当者、市民団体、政治家、企業、マスコミ関係者など幅広い分野の方々に参加して頂きたいと考えておりますので、まだご入会されて居られない方に於かれましては、ご入会をあらためてお願い致します。

最後に、10月もしくは11月に開催する予定の年次総会においては、学術的な発表もさることながら、国連などの国際機関との連携も視野に、国や地方公共団体の防災担当者、企業、マスコミ関係者が参加するシンポジウムをぜひ開催したいと企画しております。このようにして、科学的な知識を元に総合的な防災対策を実現するコミュニティづくりを目指す活動をして参りたいと考えております。

皆様の一層のご指導・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

以上

# 山中燐子

AKIKO YAMANAKA

2018. 03. 21 現在

**現職:** ケンブリッジ大学中央アジア研究所上席外交フェロー、国際津波防災学会副代表、日本国際問題研究所上席フェロー、世界平和研究所研究顧問、ERIA 会長特別故顧問。元衆議院議員。

**略歴:** 津田塾大学英文学科卒。北海道大学経済学部文部教官（助手）。英国王立国際問題所、ドイツ外交協会、ストックホルム環境問題研究所、ロシア科学アカデミー、米国ハーバード大学ライシャワー研究所、ブルッキングス研究所などで研鑽。北海学園大学人文学部教授（国際文化論）、多摩大学客員教授、CSIS 米国戦略国際問題研究所上席客員研究員、オックスフォード大学セントアントニーズカレッジ上席研究員、国際連合大学客員教授（平和構築・安全保障）、国際連合大学学長特別顧問、北海道大学大学院国際広報メディア研究科客員教授（国際交渉戦略論）、日本国際問題研究所評議員、ケンブリッジ大学チャーチルカレッジバイフェロー、千葉商科大学客員教授、IGI グローバル・イシューズ研究所代表を経る。この間、英・米・欧州、アジア各地で講演活動。衆議院議員として、外務大臣政務官、外務委員会理事、女性局長、国防部会長代理、などを歴任。

**公職:** 外務省「平和構築特別大使」及び「世界津波の日特別大使」歴任。

内閣官房長官平和国際協力懇談会委員、国際平和協力分野の人材育成に関する検討会委員、通商産業省産炭地域振興審議会委員、北海道開発庁開発審議会特別委員、ソニー財団法人 幼児開発協会理事、国際 BPW 連盟副会長、国際大学婦人連盟世界会議議長等歴任。

**著書:** 「子供の生活 I, II, III」（北方圏センター）、「北海道が日本を変える」（北海道新聞社）、「永田町エレガンス」（読売新聞社）、「THINK, or SINK: 沈まぬ先の知恵」（栢櫓舎）、「運よく女性に生まれたら世界を舞台にひと仕事」（北星堂）、「夢ある未来へ: 人間の安全保障」（角川書店）、「グローバルセキュリティの再構築と危機管理」（栢櫓舎）、「あきこイン・ザ・ワールド: オックスフォードの窓から」（千葉日報）

**学会:** 日本国際政治学会、日本国際開発学会、アメリカ学会、カナダ学会 元会員。

**国際所属団体:** コモンウェルス・クラブ・カルフォルニア 名誉委員（米国）、国際 BPW 連合会 副会長（英国）、王立国際問題研究所上席研究員（RIIA、英国・ロンドン）、サーチ・フォー・ア・コモン・グランド 顧問（米国・ワシントン DC）、ウィメン・ウェジング・ピース・イニシャティブ 評議員（米国・ボストン）等歴任。

**専門分野:**

1. 外交・安全保障: ①国際平和構築（イラク・中東問題、北朝鮮・韓国・中国問題、米国・国連と日本）

②国際交渉戦略論（紛争・外交問題へのレスポンス及びリアクション、受動的外交から形成型外交へ）

③人間の安全保障（水、食料、エネルギー、環境、女性と子供、人為的及び自然災害の被害者）

**2. 国家論：**①予防国家論（危機管理準備と対応の観点からの国づくり）②国際生活文化論（育児・教育・街づくり比較研究）③中福祉・中負担研究会代表（福祉の国家像と消費税改革）

---

**受賞：**インド「オイスカ大賞」（アジアに貢献）、国際ソロoppチミスト日本「千嘉代子賞」（国際理解に貢献）

---

## 山中燐子氏の「災害」に関する海外での主な講演等

- \* 災害予防対策における日独交流 基調講演 2010年9月10日  
主催：ベルリン日独センター・ドイツ国際災害支援協会 (独)
- \* 「安全保障：両手の政策」 2010年10月3日  
主催：戦略アカデミー (英)
- \* 「紛争及び災害予防における日本のリーダーシップ」 2011年11月22日  
主催：日英協会 (英)
- \* 「自然災害及び人災に関する予防外交」 2011年11月25日  
主催：カーディフ大学 (英)
- \* 「人間の安全保障：紛争及び災害予防外交における日本の役割」 2011年5月3日  
主催：リード大学 (英)
- \* 「日本に於ける危機管理及び予防：未来に向けて」 2011年6月29日  
主催：大和日英財団 (英)
- \* 「自然災害緊急対応」 2012年10月20日  
主催：安全保障及び開発研究所 (ISDP) (瑞)
- \* 「自然災害と日中協力」 2014年10月19日  
主催：天津外国語大学日本語研究科特別講義 (中国)
- \* 「地域安全保障の構造：現況と展望」 2014年11月21日  
主催：香山フォーラム2014 (中国軍事科学院) (中国)
- \* 「人道支援及び災害救助活動」 モデレーター 2015年10月17日  
主催：香山フォーラム2015 (中国)  
(中国軍事科学院及び中国国際戦略研究所)
- \* 「アフリカ地域防災プラットフォーム」 基調講演 2016年11月25日  
主催：UNISDR (モーリシャス)
- \* 「世界津波の日：防災シンポジウム」 講演 2016年12月15日  
主催：ERIA (インドネシア)
- \* 「International Association of Parliamentarians for Peace」 講演 2017年2月3日 (韓国)  
以上 ( 2017. 03.31 現在 )